

学校用グループウェアの活用 南小松島小学校の取組

グループウェアは「リアルタイムな引継ぎツール」

南小松島小学校では、学校用グループウェア（GW）を活用し、効率的な業務運営を目指した取組を行っています。試行を繰り返しながら、校務における役割も徐々に大きくなってきています。その取組事例を紹介します。

H31.2.6取材

【GWの活用におけるルール】

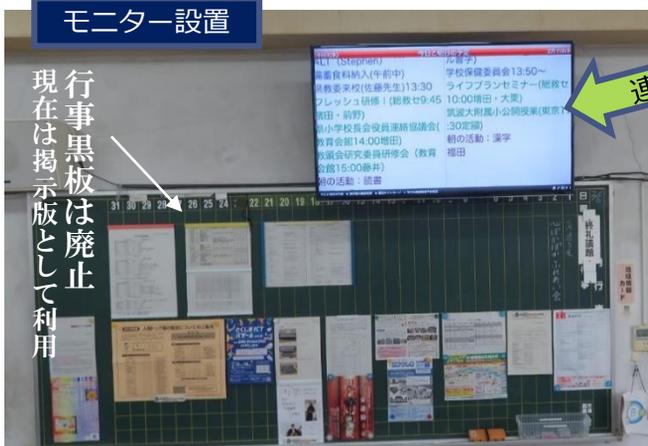
- ①校務用PCやiPad、個人所有のスマートフォンで、いつでも閲覧可能
- ②印刷は必要最小限に抑える効果を十分活かせるよう工夫
- ③職員会や終礼等での連絡事項は、必ず掲示版等で連絡
- ④検索機能を利用し、過去の資産を有効活用し、計画的に運用
- ⑤部外者への閲覧を許したり、閲覧のための情報を漏らすことは禁止

業務改善のポイントがココ！

見えるから、はかどります

スムーズな連絡体制の構築による業務の効率化

モニター設置

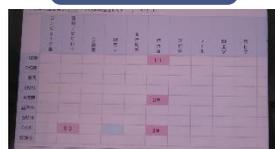


行事黒板は廃止
現在は掲示版として利用

各教員のタブレット



施設予約



特別教室等の予約状況を一目で確認できます。

職員間連絡



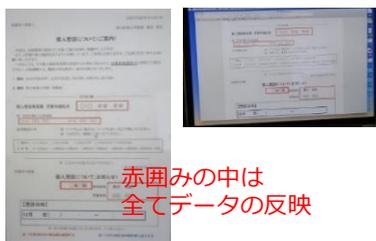
各先生からの連絡事項は全て掲示版へ掲載する。
(未読者もチェック)

職員へのアンケート調査



教育委員会等からの調査を一覧にし、アンケートへの回答や集計まで行います。

個人懇談表の作成



赤囲みの中は全てデータの反映

一度様式を作成しておく
毎年使用することができるので効率的です！

各種様式の作成

データをさまざまな様式に連動・反映

通知表（成長の記録）の作成



全てデータは反映される

【GW活用の感想】



通知表等の文書作成が、大幅に効率化できた。

学習指導への活用



外国語教材をデータで活用

指導書の閲覧

その他のICT活用事例

防犯等への活用



ネットワークによる防犯カメラの設置

データの蓄積により、新たな入力の必要性がないため、まさにリアルタイムで業務の引継ぎが行われていることとなります。